

手書きのせりふ、カットされた回を収録

# 手塚漫画 連載時のままで

漫画家の手塚治虫（1989年死去）が70年代に手掛けた新聞連載「タイガールランド」「アバンチュール21」のオリジナル版や、単行本未収録の作品を集めた書籍が11月に発売される。現行の単行本では活字に置き換えられた手塚自身が手書きしたせりふや、カットされた回、こまも連載当時のまま収録しており、貴重な資料となりそうだ。

## 来月書籍発売、横長の原寸大も

書籍名は「手塚治虫コミック ストリップス」で3分冊の構成。74年に赤旗日曜版（当時）に連載された動物と人間の共存を描く「タイガールランド」は、幅40ページの横長の1冊に収録され、全話を連載当時の紙面と同じサイズで読むことができる。

手塚は縦型の単行本化のため、元の原稿を自ら切り貼りし、話や絵を加筆修正、カットしていたという。書籍を企画、編集した濱田高志さんは「オリジナルの原稿が奇跡的に残っていると分かり、横長の原寸大で書籍化が実現した。吹き出し内の手塚先生の



「アバンチュール21」の一場面 ©手塚プロダクション



手塚治虫が吹き出しのせりふを手書きした「タイガールランド」の一場面 ©手塚プロダクション



丸っこい独特の書き文字からは、当時の雰囲気伝わってくる」と語る。さらに、65年に中日新聞で連載された子ども向け漫画「どうなるくん」など5作品を初めて単行本に収録した。予約の受け付けは出版社888（ハチミツ）ブックスの販売用ホームページで。価格は1万3200円。

神戸新聞 10月14日(水)夕刊より

没後、早や30年以上となるのですね。

なのに今なお、色褪せることのないこの存在感。

私達が小さい頃にワクワクして観ていた理由がよく分かります。

因みに氏は大阪大学医学部卒であり、医学博士

でもあります。一度ブラックジャックなど読んでみれば、